



安全な登下校の見守りへ決意

学校安全ボランティア・スクールガードに委嘱状

町教育委員会は4月4日、学校安全ボランティア・スクールガード委嘱状交付式を役場で行い、新任18人を含む45人のスクールガードと、2人のガードリーダーに活動への協力を求めました。

スクールガードは、児童の登下校時の見守りなどに努めます。佐々木照子さん(16区)は「子どもたちが交通事故の被害に遭わないよう、見守っていききたい」と活動への決意を語りました。



小野寺璃優さん(平泉小)が再び県1位

第15回県春季学童水泳競技大会1年男子平泳ぎ50㍍

平泉小学校2年の小野寺璃優さん(10区)は、第15回県春季学童水泳競技大会(3月5日、県水泳連盟主催)1年男子平泳ぎ50㍍で53秒67を記録し、1位に輝きました。

同種目で1位だった昨年9月の県学童水泳競技大会(同主催)のタイムを7秒余り上回る結果に「2年生のうちにあと5秒縮めたい」と意欲を語ります。春季大会の優秀選手にも選ばれました。同自由形50㍍はターンの失敗があったものの、45秒27で2位となりました。



歴史に残る1勝

平泉GOLDEN KID'Sスポ少が全国出場を報告

東京都で3月30～31日に開かれた第54回全国ミニバスケットボール大会に出場した「平泉GOLDEN KID'Sミニバススポーツ少年団」が4月11日、役場で吉野教育長に結果を報告しました。【17㍈に関連】

東京・京都・山口各都府県代表チームと対戦し1勝2敗。主将を務めた佐藤琥士冴さんは「歴史に残る1勝だった」と振り返り、吉野教育長は「全国のレベルを肌で感じ、発見したことが力になる」とねぎらいました。



消防団のポンプ積載車を更新し8分団へ

町で初めてワゴン型の車両を導入

町は、町消防団第8分団(佐々木一朗分団長)が使用する小型消防ポンプ付き積載車と一関西消防署平泉分署に配備する連絡車を更新し、3月24日に引き渡し式を保健センター前で行いました。

団員確保の観点から、普通免許で運転できるワゴン型の車両をポンプ車として初めて導入。佐々木分団長は「最新鋭の車両で現場に赴き対処したい。火災予防の活動や警備にも活用させていただく」と語りました。

児童たちが火災予防を誓う

長島少年消防クラブ入団式

長島小学校の全児童による長島少年消防クラブの令和5年度入団式は4月17日、同校で行われ、新1年生7人が火災予防に努めることを誓いました。

全校児童や来賓合わせて約90人が出席。1年生を代表し三浦悠花さんが、一関西消防署の伊藤賢署長から、クラブ員の証しとしてバッジと手帳を受け取りました。児童全員で「火遊びなど絶対しません」などと、火災をなくす誓いを宣誓しました。



子どもたちの交通事故防止へ

こくみん共済から横断旗の寄贈受ける

町は3月28日、子どもたちを交通事故から守るため活用してもらいたいと、こくみん共済coop岩手推進本部(佐藤伸一本部長)から横断旗250本の寄贈を受けました。町内での交通安全指導、街頭活動などに活用します。

同日に役場で行われた贈呈式で、佐藤本部長は「子どもたちを交通事故から守ろうと、全国の組合員から協力をいただいた」と語り、青木町長は「関係機関・団体が協力して活動を展開したい」と感謝を伝えました。



平泉の祭り、一緒に盛り上げを

水かけ神輿の祭りばやしへの参加者を募る

長島地区の奥州平泉山王太鼓同志会は、7月の平泉水かけ神輿に向けた「お囃子教室」への参加者を募っています。畠山清一会長(19区)は「平泉の祭りを盛り上げるため、多くの人に加わってほしい」と呼びかけます。

同会は、水かけ神輿の際に祭りばやしを響かせており、お囃子教室として会員以外の参加を募集。本番に向け、毎週水曜午後7～8時に長島公民館で練習しています。希望者は事務局の三浦まつみさん(☎46-5144)まで。



新消防団長の佐々木さんに辞令書を交付

「町民の生命と財産を守る」と意気込み

町消防団長に4月1日付で就任した佐々木和信さん(1区)への辞令交付式を同3日に役場で行い、青木町長が佐々木さんに辞令書を手渡しました。

佐々木さんは昭和53年に町消防団に入団。これまで第2分団長や本部長、副団長などを務めました。就任に当たり佐々木さんは「町民の生命と財産をしっかり守り、地域に恩返ししたい」と意気込みを示しました。団長の任期は令和9年3月末までの4年間です。